

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		理念の共有と実践の為朝のミーティング等で互いに意識付けをし合い、理念に立ち戻ることの気持ちで、日々のケア業務に当たる事。	毎日の申し送りで理念を確認し、日々の業務に反映させる。	毎日の申し送り時に理念を読みその日の業務に当たるようにする。	1ヶ月
2		重度化や終末期に向けた方針を早急に話し合い明確な基準を設け勉強会に組み入れるなど日常的な取り組みをする事。	人としての尊厳を持って全人的ケアでその人らしく支援していく。	勉強会や研修する機会を作り個々のスキルアップを目指す。	3ヶ月
3		消防、駐在所、地域の各組織の協力を構築した組織作りと勉強会を早急に量り安全対策を築いていく事。	消防、駐在所の方に運営推進委員になっていただき、安全対策について意見を頂く。	宮古消防署田野畑分署と岩泉警察署田野畑駐在所の方に運営推進会議の委員になっていただく。また、防犯の勉強会や救命講習などを年数回行う	1年間
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。